

### 学校教育目標と指導の重点

#### 1 学校教育目標

- 「地域に生き、地域に誇りを持ち、地域に愛される人間を育てる」
- (1) 地域理解を進める広い視野と豊かな知識を持つ生徒を育成する。
  - (2) 他を思いやる温かい心や自律性・社会性と自己形成力を持ち、地域貢献に努める生徒を育成する。
  - (3) 目標を立て目標に向かう不屈の精神と健やかな身体を持つ生徒を育成する。

#### 2 スクール・ミッション

- (1) 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成
- (2) ICT等を活用した遠隔授業や個に応じた指導を通じて、自ら学習意欲や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- (3) 高校×地域＝学校力向上＋地域創生(高校と地域の掛け算による学校力向上と地域創生に向けた人材育成)

#### 3 3つの方針（スクール・ポリシー）

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| ○ 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー） |  |
| 1                                   | 地域と連携し、思考力・判断力・表現力などの学ぶ力を育てます。   |
| 2                                   | 地域理解を通して発見力を育み、グローバル的な視点にたった探究力を育てます。  |
| 3                                   | 自己指導力や他者への寛容力を身につけ、行動力・コミュニケーション力を育てます。  |
| ○ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）    |  |
| 1                                   | 基礎・基本の重視<br>基礎・基本の確実な定着を重視し、必修科目を中心とした教育課程を編成する。   |
| 2                                   | 進路を実現するコース・多様な科目選択<br>大学進学を目指した「発展教養」、就職・専門学校に進む「基礎教養」のコース制を2・3年で実施する。多様な進路や個々の興味・関心に応じた科目選択ができる教育課程を編成する。 |
| 3                                   | 地域に開かれた教育課程<br>地域の人的・物的資源を有効活用した教育活動を展開する。   |
| 4                                   | 個別最適な学びの実現<br>遠隔授業やICT機器を有効活用し、個に応じた教育活動を展開する。   |
| 5                                   | 学ぶ目的の明確化<br>育成を目指す資質・能力を明確化した教育活動を展開する。  |
| 6                                   | 「生きる力」の育成<br>多様な人々との関わりや体験的な学びをする。   |
| 7                                   | 主体的・対話的な学び<br>見通しを立てながら学んだり、振り返って次に活かしたりする活動をする。   |
| 8                                   | アウトプットの重視<br>自分自身で考え、適切な手法で他者に伝える活動をする。  |
| ○ 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）       |  |
| 1                                   | 主体的に学びに向かう生徒   |
| 2                                   | 特別活動、ボランティア活動等に積極的に取り組もうとする生徒  |
| 3                                   | 地域貢献に意欲的な生徒  |

#### 4 指導上の重点事項

|        |   |
|--------|---|
| 重点目標   | (1) 基礎的・基本的知識・技能を修得し、主体的・対話的で深い学びを実現することで思考力・判断力・表現力の伸長に努める。<br>(2) 自己形成を図り、地域貢献に努め、他を思いやる温かい心や豊かな人間性の育成に努める。<br>(3) 主体的に未来を切り拓く目標を持ち、不屈の精神と健やかな身体をもってやり抜く力の育成に努める。 |
| 学習指導   | (1) 一人一台端末の効果的な活用<br>(2) 個に応じた学習指導の充実<br>(3) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の推進<br>(4) 学習意欲を高める評価等の充実<br>(5) 地域と連携した学習活動の推進   |
| 生徒指導   | (1) 生徒の自立的活動による基本的生活習慣の確立<br>(2) 自主的・体験的活動（生徒会・部活動・ボランティア）の充実<br>(3) 自他を尊重する心の育成<br>(4) いじめ防止活動の充実  |
| 進路指導   | (1) 主体的に進路を選択する指導の充実<br>(2) 保護者への的確な情報提供と家庭・関係機関との連携を重視した校内指導体制の充実<br>(3) キャリア教育の観点に基づく地域と連携した望ましい勤労観・職業観の育成  |
| 健康安全指導 | (1) 心身の健康づくりを増進する活動の充実<br>(2) スクールカウンセラーや関係機関と連携した教育相談活動の充実<br>(3) 専門機関と連携した特別な配慮を必要とする生徒への組織的な対応<br>(4) 災害等に対する意識の向上及び各種事故防止に向けた取組の推進                              |

5 令和8年度学校経営シラバス

|   |   |
|---|---|
| 目指す学校像（学校経営方針）  |   |
| <地域創生><br>地域連携を推進し、地域課題解決に向けた探究活動を実践することで、地域に誇りを抱き、地域の将来を支える人材を育成する学校 | <自己実現><br>小規模の特性を生かした教育課程の充実と一人ひとりに寄り添った系統的なキャリア教育により、生徒の多様な進路希望の実現に応える学校 |

| 領域   | 対象         | 中期目標   | 今年度の目標   | 目標達成のための評価の観点   |
|------|------------|--|--|---|
| 教育活動 | 学習指導       | 1 個に応じた指導による学力の伸長<br>2 主体的・対話的で深い学びの実現<br>3 地域と連携した学習活動の推進     | 1 端末を活用した個に応じた学習指導の充実<br>2 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の推進<br>3 学習意欲を高める評価等の充実<br>4 地域と連携した学習活動の推進                            | 1 端末の活用や個に応じた指導は進んだか<br>2 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善は進んだか<br>3 観点別評価の工夫により生徒の学習意欲は高まったか<br>4 地域と連携した学習活動は充実したか |
|      | 生徒指導       | 1 基本的生活習慣の確立<br>2 自律性・社会性・自己有用感の育成<br>3 いじめを許さない生徒の育成          | 1 生徒の自律的活動による基本的生活習慣の確立<br>2 自主的・体験的活動（生徒会・部活動・ボランティア）の充実<br>3 いじめ防止活動の充実  | 1 基本的生活習慣は確立したか<br>2 生徒会活動、部活動、ボランティア活動は活性化したか<br>3 いじめ防止活動は充実したか   |
|      | 進路指導       | 1 深い自己理解による自らの進路を切り拓く能力の育成<br>2 地域とともに推進するキャリア教育               | 1 主体的に進路を選択する指導の充実<br>2 保護者への的確な情報提供と家庭・関係機関との連携を重視した校内指導体制の充実<br>3 キャリア教育の観点に基づく、地域と連携した望ましい勤労観・職業観の育成                | 1 主体的に進路を選択できる生徒は育成できたか<br>2 進路指導における保護者・関係機関との連携は充実したか<br>3 進路実現のための校内体制は機能した、望ましい勤労観・職業観は育成できたか         |
|      | 健康・安全指導    | 1 心身の健康を増進する教育<br>2 安全・環境美化意識の高揚                               | 1 心身の健康づくりを増進する活動の充実<br>2 SCや関係機関と連携した教育相談活動の充実<br>3 専門機関と連携した特別な配慮を必要とする生徒への組織的な対応<br>4 災害等に対する意識の向上及び各種事故防止に向けた取組の推進 | 1 感染症対策を含む心身の健康に関する教育活動は充実したか<br>2 教育相談活動は充実したか<br>3 特別な配慮を必要とする生徒の対応が適切にできたか<br>4 防災や事故防止への取組は充実したか      |
| 学校運営 | 信頼される学校づくり | 1 地域の教育資源を活用した教育活動の推進<br>2 学校安全の確立<br>3 組織的な学校改善の定着            | 1 地域と連携した教育活動の推進<br>2 保護者・地域への適切な情報提供<br>3 危機への迅速で的確な対応<br>4 学校評価を活用した学校改善   | 1 地域と連携した教育活動は機能したか<br>2 保護者・地域への情報提供は進んだか<br>3 迅速な危機対応はできたか<br>4 学校評価による改善の方策は共有できたか                     |
|      | 組織運営       | 1 学校課題の解決に向けた協働体制の確立<br>2 働き方改革の推進<br>3 育成を目指す資質・能力に基づく教育活動の展開 | 1 分掌を軸とした学校課題の共有<br>2 PDCAサイクルによる評価と改善の推進<br>3 同僚性を土台とする協働体制の構築<br>4 業務精選や推進方法の工夫等による超過勤務時間の縮減                         | 1 学校課題は共有できたか<br>2 教育活動の成果と課題を明らかにできたか<br>3 教職員の協働は進んだか<br>4 校務の効率化を進め、超過勤務時間の縮減が進んだか                     |
|      | 教職員の資質向上   | 1 研修の充実<br>2 専門性・教育的力量の向上<br>3 服務規律保持の徹底<br>4 ハラスメントの無い職場環境づくり | 1 課題に即した校内研修の充実<br>2 教科・分掌に係る外部研修への積極的参加と成果の還元<br>3 教職員の高い服務規律遵守意識の醸成<br>4 職員間の信頼の構築と相互牽制                              | 1 学校課題を踏まえた校内研修は実施できたか<br>2 外部研修の成果は校内の教育活動に反映されたか<br>3 服務規律遵守の意識は高いか<br>4 安心して職務に専念できる職場環境となっているか        |